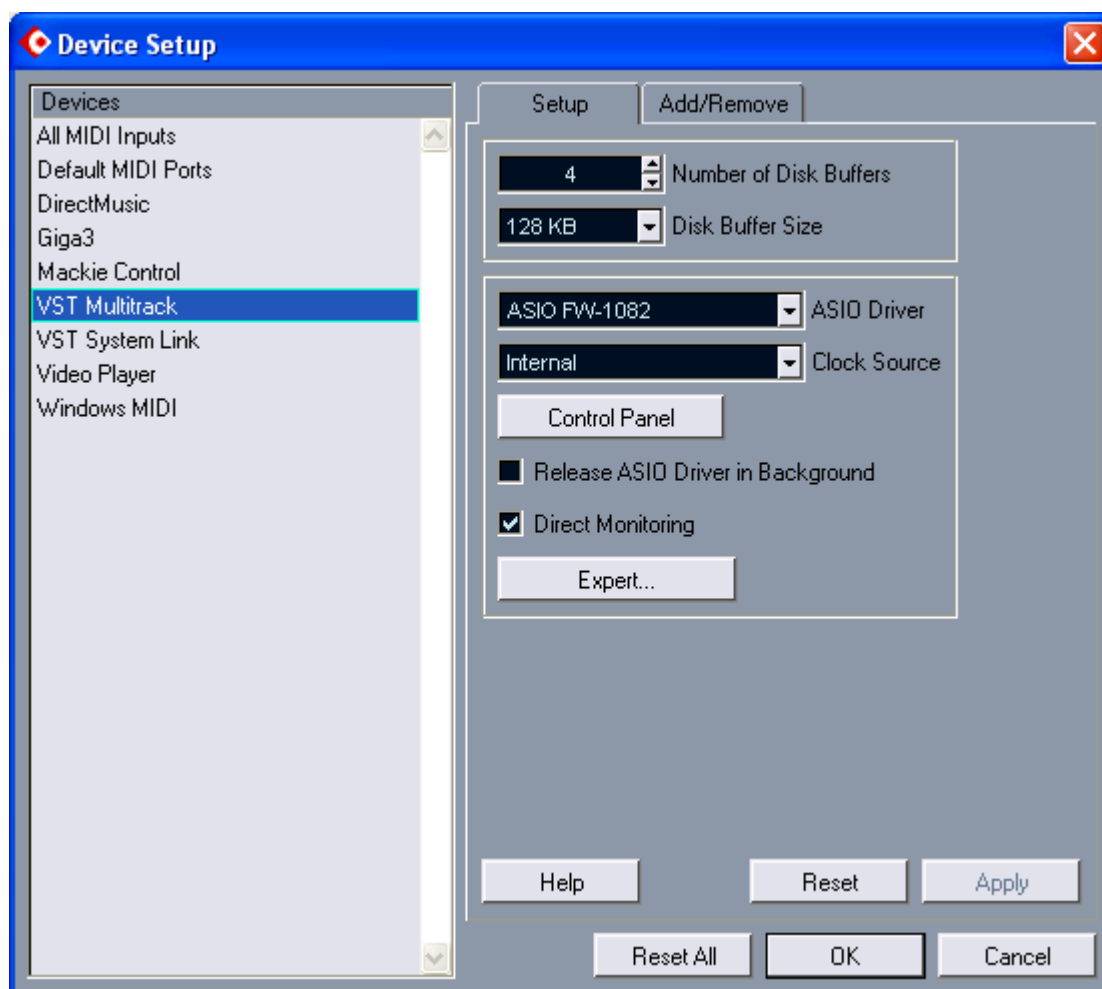


## FW-1082 と Cubase LE

本書では Cubase LE を FW-1082 と組み合わせて使う場合の設定方法と FW-1082 からのコントロール方法について説明します。

### 設定

Cubase LE で [デバイス] メニューから [デバイス設定] を選択し、オーディオとコントロールサーフェスを設定します。[デバイス設定] ウィンドウの左側のリストから [VST Multitrack] を選択します。ウィンドウの右側で [設定] タブをクリックし、[ASIO ドライバ] のリストから [ASIO FW-1082] を選択します。これで FW-1082 のオーディオチャンネルが Cubase LE で使えるようになります。



コントロールサーフェスを設定するには [デバイス設定] ウィンドウの右側の [追加/削除タブ] をクリックし、[Mackie Control] を反転表示させて右下の [追加] ボタンをクリックします。次に左のリストから [Mackie Control] を選択して [設定] タブをクリックします。右側で [MIDI Input] と [MIDI Output] の両方に [FW1082 Control] を選択します。このタブではさらにフットスイッチ(User A)と F1~F4 キー（および SHIFT+F1~F4 キー）に機能を割り当てることができます。詳細は後述します。[デバイス設定] ウィンドウを閉じてください。

FW-1082 の CONTROL PANEL キーを押します。 [Settings] タブの [Control Protocol] のフィールドで Cubase LE を選択します。

[デバイス] → [VST Inputs] メニューで FW-1082 の入力を有効にすることにより、それらを使用可能な状態にします。

FW-1082 の SoftLCD を使って FW-1082 のステータスを表示させることもできますが、これは必ずしも必要ではありません。

また、誤操作を避けるため、 [File] → [Preferences] → [Editing] メニューで、 [Enable Record on Selected Track] のチェックをはずしておくことをお勧めします。

## チャンネルストリップ

チャンネルストリップの操作は直接画面上のチャンネルをコントロールします。つぎのような特別のコントロールも可能です。

REC+いずれかの SEL	そのトラックの録音のイネーブルを切り換える
SHIFT+いずれかの SOLO	全トラックのソロを解除する
SHIFT+いずれかの MUTE	全トラックのミュートを解除する

注意：あるチャンネルの SOLO ボタンを押すと、Cubase LE 側でもそのチャンネルを選択します。

## トランスポート

5つのトランスポートボタン(REW, F FWD, STOP, PLAY, RECORD) は、PC 側のそれらに対応するボタンをコントロールします。さらに FW-1082 側では以下のようなコントロールが可能です。

SHIFT + REW	プロジェクトの先頭に戻る
SHIFT + F FWD	プロジェクトの末尾に飛ぶ
SET + REW	アンドゥ
SET + F FWD	リドゥ
SET + STOP	保存する
SET + RECORD	パンチインのオン/オフを切り換える
< BANK	左の8チャンネルにシフトする
BANK >	右の8チャンネルにシフトする
SHIFT + < BANK	1チャンネルずつ左にシフトする
SHIFT + BANK >	1チャンネルずつ右にシフトする
IN	左のロケータに飛ぶ
OUT	右のロケータに飛ぶ
SET + IN	F5 キーに割り当てた機能 (後述します)
SET + OUT	SHIFT + F5 キーに割り当てた機能 (後述します)
<< LOCATE	前のマークにロケートする
LOCATE >>	次のマークにロケートする

SET + << LOCATE    マークを追加する  
SET + LOCATE >>    マークを追加する

ジョグダイヤルでタイムラインを前後に移動することができます。SHTL キーとそのそばの LED は CYCLE (LOOP) のオン/オフを切り換えます。矢印キーはコンピュータのキーボードの矢印キーと同様に使えます。

## EQ/PAN/AUX

EQ/PAN/AUX セクションの操作子は常に選択しているトラックに対して有効になります。これらの操作子のモードはこのセクション下部の 3 つのキーで決まります。これらの操作子の機能のあらましを以下に説明します。

### EQ/PAN モード

EQ バンドキーを押す：選択したトラックのそのバンドのレベルを調整する  
SHIFT キー押しっぱなし：選択トラックの EQ バンドのオン/オフ状態をみる  
SHIFT を押しながら EQ バンドキーを押す：選択トラックの EQ バンドのオン/オフを切り換える  
GAIN, FREQ, Q, PAN つまみを回す：選択したトラック、選択したバンドのこれらのパラメータを調整する  
SHIFT を押しながらかつまみを回す：選択したトラックの微調整

### AUX 1-4 モード

AUX 1-4 キーを押す：選択したトラックのオン/オフを切り換える  
SHIFT キー押しっぱなし：プリ/ポスト状態を見る。AUX 1~4 キーで切り換える  
AUX 1~4 つまみを回す：AUX センドレベルを調整する。SHIFT キーを押しながら回すと微調整できる

AUX 5-8 モードは Cubase LE では無効です。

注意：MIDI トラックには EQ, AUX 調整はありません。

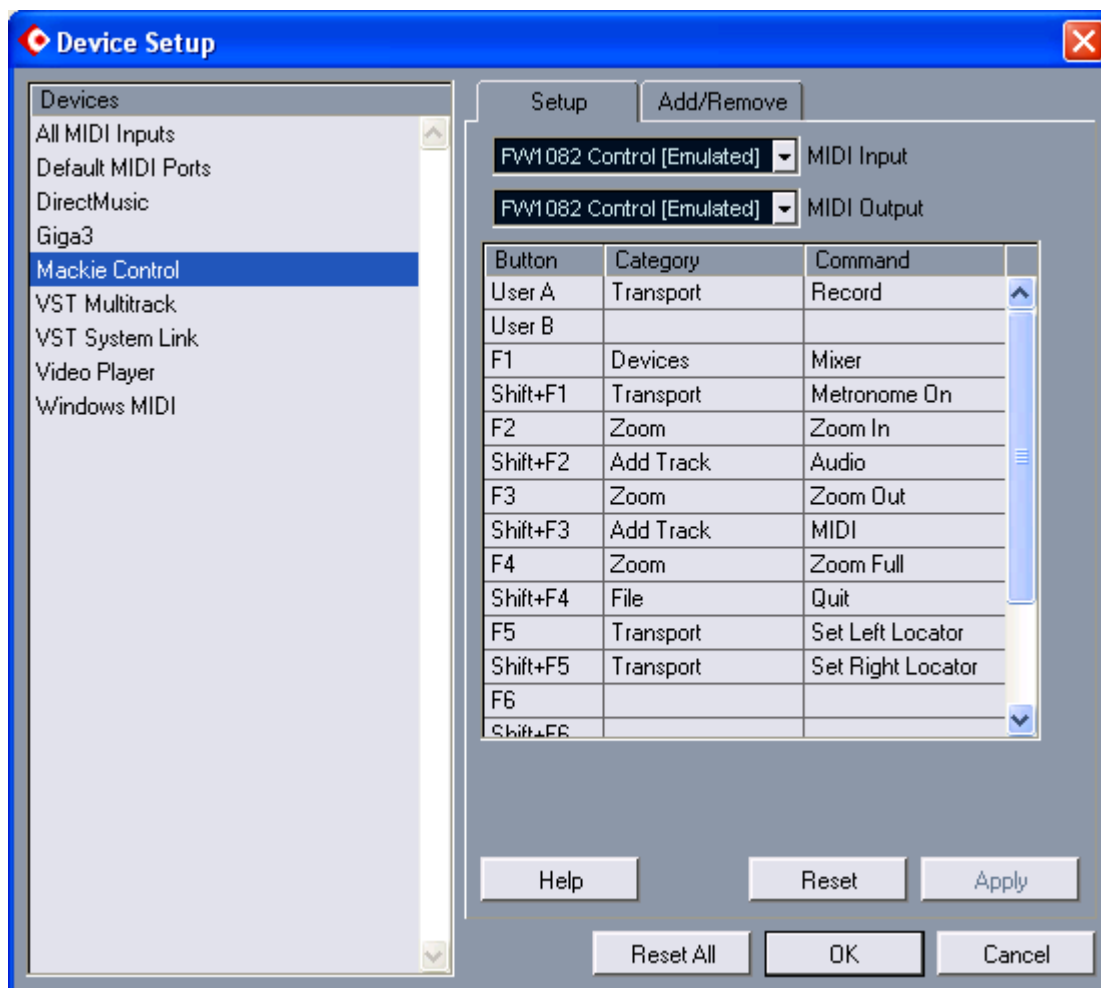
## プログラマブル・ファンクションを使う

Cubase LE には 9 とおりのユーザー・プログラマブル・ファンクションが使えます。プログラムするには、[デバイス] → [デバイス設定] メニューで左のリストから [Mackie Control] を選択し、右側では [設定] タブを選択します。フットスイッチ (User A) と F1~F4 キー (および SHIFT+F1~F4 キー) に機能を割り当てることができます。さらに 2 つの機能を割り当てることができますので、それらに左右のロケータ設定機能を割り当ててをお勧めします。

キー	割り当て先	機能
SET + IN	F5	トランスポート/左ロケータ設定
SET + OUT	Shift + F5	トランスポート/右ロケータ設定

FW-1082 からは Cubase LE の USER B または F6-F8 プログラマブル・ファンクションを使うことはできません。

典型的な設定例は下図のようになります。



これらのキーには何百もの機能を割り当てることができます。特に以下の機能は便利です。

- トランスポート/メトロノームをオンする（クリック音をオン/オフする）
- デバイス/ミキサー（ミキサーウィンドウのオン/オフ）
- トラック/オーディオを追加する
- ズーム/（さまざまな選択肢があります）